

【クレプトマニア（窃盗症）とは】

■ クレプトマニア（窃盗症）とは

クレプトマニアとは、窃盗（万引き）をやめたくてもやめられない「依存症」という病気です。アルコールや薬物依存に比べるとまだ認知度が低く、専門的に治療を行っている機関も限られています。窃盗行為そのものから得られるスリルや解放感が忘れられず、繰り返し行うことで「してはいけない」と自責の念を抱きながらも、衝動を抑えられなくなる状態を指します。

■ クレプトマニアの特徴とは



疾患の理解：やめたくてもやめられない「依存」



盗む行為そのものに
依存する「病気」です

物が欲しいわけではなく、スリルや解放感を求めて繰り返してしまう依存症です。

特徴チェックリスト：
こんな症状はありませんか？

☒ 衝動を抑えられない



☒ 支払えるのに盗む



☒ 不必要な物を盗む



☒ 盗むとホッとする



クレプトマニアは、盗んだ「物」ではなく、盗む「行為」そのものに依存する病気です。放置すると、仕事の喪失や法的問題など、社会復帰に深刻な影響を及ぼす可能性があります。



回復への道：専門治療と家族の連携



本人・医療・家族の 三位一体の連携



専門スタッフと共に、窃盗が習慣化した背景を分析し、最適なプログラムを立案します。

入院による個別プログラム とカウンセリング



専門スタッフと共に、窃盗が習慣化した背景を分析し、最適なプログラムを立案します。

本人・医療・家族の 三位一体の連携



一人では難しい回復も、三者が連携することで確かな一歩を踏み出せます。



家族のサポートが 回復の鍵

現金管理や買い物への同伴など、退院後の生活環境を整える協力が不可欠です。

■ 当院の治療方針

クレプトマニアも他の依存症と同様、適切な治療を受けることで回復が可能です。当院では、**入院による個別治療プログラム**をご用意しています。専門スタッフによるカウンセリングを通じ、「どのような背景で行為に至ったか」「どのように習慣化したか」を分析し、お一人おひとりの状況に合わせた治療プログラムを立案します。

■ ご家族の方へ

依存症は一人で抱え込んで回復できる病気ではありませんが、ご本人・医療機関・ご家族が連携することで、必ず回復の兆しが見えてきます。ご家族のサポートは、ご本人が安心して治療に取り組むための大きな力となります。当院では、退院後の生活環境の調整（金銭管理や買い物への同行など）についても専門スタッフが詳しくご説明し、共に回復を目指します。